

# 高齢化の進む地域のコミュニティを再生する学校づくり

— 長岡市立四郎丸小学校 —

## 学校・施設概要

所在地：新潟県長岡市四郎丸  
 創立：明治7年(昭和9年に現在地に移転)  
 児童数：465名  
 学級数：15(平成14年5月現在)

## 地域・コミュニティの特性

- 積雪の多い地方都市の中心市街地。
- 高齢化の進む既成市街地の周辺に、集合住宅等の建設が進み、新住民が増加している。
- 地域住民のコミュニティ活動を総合的に支援するために、公民館・児童館・福祉センターの活動を包含した拠点形成を目指す「コミュニティセンター構想」の試行地区に指定されている。



赤城コマランドで実施した6年生の総合的な学習の時間

## 事例の特徴

- 地域の様々な団体が連携するコミュニティ組織が立ち上げられている。
- 教育環境づくりに地域全体で取り組んでいる。

### 新旧の住民が集い、力を発揮しやすい場づくり

公民館、児童館、福祉センターの機能を集約した。「四郎丸コミュニティセンター」を中心に、小・中学校やPTA・町内会・老人クラブ・趣味やボランティア活動などの各種サークル等が「四郎丸地区コミュニティ活動推進会議」をつくり、地域の安全や福祉、健康、教育環境づくりに協力・連携しながら取り組んでいる。



地域と学校との連携によるペットボトルロケット大会



赤城コマランドにできた手作りの「図書室」

### 子どもたち、保護者、地域住民が集う山林づくり

「四郎丸地区コミュニティ活動推進会議」が、地元農家から山林の貸与を受け、PTAや住民等が子どもたちとともに冒険遊び場づくり(赤城コマランド)に取り組んでいる。総合的な学習の時間などに学習活動の場としても活用されている。子どもたちが地域づくりに参加しながら、日常的に住民との交流を深めている。

## 地域に開かれた安全・安心な学校づくりの創意・工夫

起す

### コミュニティ活動を総合化する場所と体制をつくった

- 公民館、児童館、福祉センターを集約した「四郎丸コミュニティセンター」に、小・中学校やPTAも参加する「四郎丸地区コミュニティ活動推進会議」を置いている。趣味やスポーツ、ボランティアなどのサークル・クラブ活動を行いやすい環境がつくられ、防災・防犯活動や健康づくり、福祉コミュニティ、子育て支援などの事業が行いやすくなった。

### 「学ぶ」ことについて地域ぐるみで考える場をつくった

- 「四郎丸地区コミュニティ活動推進会議」内に、「四郎丸地区教育環境づくりの会」を立ち上げた。「子どもたちを地域全体で育てる」というテーマのもと、社会教育だけでなく学校教育にも活かせる、地域住民のサークル活動や学習イベントなどの情報を提供している。

広げる・つなげる

### 子どもたちが自由に学べる場所を、地域に見つけた

- 総合的な学習の時間などでの学習活動や子どもたちの冒険遊びの場として、PTAが「学校の森」を提案した。「四郎丸地区コミュニティ活動推進会議」が地元農家から山林を借り受け、「赤城コマランド」と名づけて学習活動や冒険遊びに利用している。

### 子どもたちのための場所をみんなが集う場所にした

- 「赤城コマランド」での学習や地域のコミュニティ活動を通じて、シーソーやブランコなどの遊具の製作や、清掃活動などの山林の手入れを住民と子どもたちが一緒に行っている。また、「植樹会」を開催し、多くの人が「赤城コマランド」に集まり、関心を寄せる機会をつくっている。

続ける

### じっくりと長い年月をかけて「育てる」活動を取り入れた

- 赤城コマランドでは、「植林」を行い、百年後、千年後を考えた山林やまちを育てる活動を進めている。

## 安全・安心のための工夫

- 「四郎丸地区コミュニティ活動推進会議」に学校が参加し、町内会、防犯・防災関係団体等と連携した活動や情報の共有を行っている。
- 山林での活動の安全性などを下見する「探検隊」に、子どもから高齢者までが参加して、「赤城コマランド」の開発計画を作成した。
- 総合的な学習の時間などで「赤城コマランド」を利用する際には、多くの住民が学習活動を支援している。